

地球環境を守る かごしま県民運動 推進大会

私たちの日常生活や事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など、身近なところから地球環境の保全のための実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育てて、次の世代に引き継いでいきましょう。

- とき 令和7年6月30日(月) 14:00~16:30
- ところ ホテル自治会館（市町村自治会館）4階ホール
（鹿児島市鴨池新町7番4号）

地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

構成団体

県衛生自治団体連合会、県漁業協同組合連合会、県子ども会育成連絡協議会、
(一社)県商工会議所連合会、県商工会連合会、県森林組合連合会、県生活衛生同業組合連合協議会、
県石油商業組合、県地域女性団体連絡協議会、県農業協同組合中央会、鹿児島都市ガス協議会、
(株)山形屋、九州電力(株)鹿児島支店、(一財)県環境技術協会、(公財)県老人クラブ連合会、
(福)県社会福祉協議会、(一社)県銀行協会、(一社)県建設業協会、(公社)県工業倶楽部、
(一社)県自動車整備振興会、(公社)県トラック協会、(公社)日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会、
県市長会、県町村会、県議会、県教育委員会、鹿児島県 他 合計159団体

事務局連絡先

鹿児島県環境林務課地球温暖化対策室 (鹿児島市鴨池新町10-1 TEL: 099-286-2586)
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター (鹿児島市七ツ島1-1-5 TEL: 099-284-6013)

プログラム

- 開 会 …………… 14:00
- 会長（知事）あいさつ …………… 14:00～14:05
- 環境保全活動優秀団体等表彰 …… 14:05～14:25
 - 始良生活学校
 - 阿権小学校島っ子ガイド
 - 鹿児島地区漁業士会
 - 泰野校区コミュニティ協議会
 - 山川町漁業協同組合
 - 吉野東中学校office兵六※五十音順
- 活動事例発表 …………… 14:25～14:40
 - ・ 環境保全活動優秀団体表彰受賞者
- 説 明 …………… 14:40～14:50
 - ・ デコ活に取り組んでみませんか？
～脱炭素につながる新しい豊かな暮らし～
- 講 演 …………… 15:00～16:30
 - 演 題
脱炭素社会の実現と行動変容について
 - 講 師
全国地球温暖化防止活動推進センター 副センター長
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事務局長)
平田 裕之 氏
- 閉 会 …………… 16:30

令和7年度環境保全活動優秀団体等表彰受賞者

※五十音順

始良生活学校（始良市）

活動年数：約51年

同団体は、8名で構成。

廃食油からの石鹸製造や、海岸漂着物の回収活動、食品ロス啓発活動及びフードドライブ等の環境保全活動を実施している。

阿権小学校島っ子ガイド（伊仙町）

活動年数：約10年

同団体は、児童9名で構成。

地域の宝を知ってもらおうと児童自らが視察・調査を繰り返し、樹齢300年のガジュマルやサンゴの石垣など阿権集落の豊かな自然等を紹介するガイド活動を観光客に行い、地域の環境保全の啓発に努めている。

鹿児島地区漁業士会（鹿児島市）

活動年数：約9年

同団体は、14名で構成。

鹿児島市内の海、特に“里海”の環境保全活動として、アマモ場の再生、海藻類の増養殖による富栄養化対策、海岸清掃活動などに取り組んでいる。

泰野校区コミュニティ協議会（志布志市）

活動年数：約3年

同団体は、役員26名で構成。

地球環境を守る景観形成に向けて、こいのぼり掲揚、かかし作成・設置、彼岸花・コスモス・菜の花・レンゲの植栽、道路沿い花いっぱい運動、河川の清掃等を行っている。

山川町漁業協同組合（指宿市）

活動年数：約19年

同団体は、85名で構成。

2005年、青年部が中心となって藻場再生活動を開始。

食害対策を考慮した「仕切り網」と、アマモの活着や作業性・経済性に優れた「アマモマット」による播種方法を組み合わせた新技術により、南限アマモ場の再生に成功。

吉野東中学校office兵六（鹿児島市）

活動年数：約5年

同団体は、20名で構成。

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「寺山炭窯跡」のボランティアガイドを目的に設立され、2019年の土砂災害で被災した斜面の「どんぐりの森」の再生活動も行っている。

また、災害を引き起こした地球温暖化や気候変動について学び、「世界遺産と気候変動」をテーマに地域活動やイベントで発表し、県民の環境保全意識向上に寄与している。

講演 講師プロフィール

平田 裕之（ひらた ひろゆき）氏

- ・2022年から地球温暖化防止全国ネットの事務局長を務め、また、全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）の副センター長も併任している。
- ・個性的な取組を協働で作り出すためワークショップの企画、プロジェクト評価、SDGsを活用した企業の戦略づくり支援、畑付きの賃貸アパートの企画などを行っている。



地球環境を守るために、私たちにできることから始めましょう！

家庭編

1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ

- 適正な室温管理に努めます。
- 食卓に積極的に県内産・地元産を取り入れます。
- 電気製品の購入に当たっては、環境性能の高い製品を選びます。

2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ

- 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
- 週1日は、家族でノーマイカーデーに取り組みます。
- エコドライブを心がけて運転します。
- 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
- 宅配の再配達防止を心がけ、1回で受け取るようにします。

3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ

- 買い物はマイバッグ持参で出掛けます。
- 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
- 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
- 宴会・会食等においては、「30・10（さんまる・いちまる）運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。

4 川や海的环境保全にチャレンジ

- 流し台のゴミは、こまめに取り除きます。
- 使い古したてんぷら油などは、水に流さず、回収等に協力します。
- 洗剤や石けん、シャンプーは適量を使用します。

5 自然環境の保全にチャレンジ

- キャンプや登山など自然と触れ合う際等には、空き缶などのごみを持ち帰ります。
- 野生生物は採取せず、見て楽しめます。
- 身の回りの動物や植物などの自然観察を行い、将来の環境について考えます。
- 豊かな郷土の環境づくりのため、地域活動やボランティアに取り組みます。

事業所編

1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ

- 適正な室温管理に努めます。
- 職員に対して省エネを呼びかける張り紙を掲示します。
- 電気使用量や水道使用量の年間削減目標を設定します。
- 環境マネジメントシステム（環境に配慮した事業活動を自主的に進めるための目標を定め、継続的な改善を図る仕組み）の導入に努めます。

2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ

- 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
- 週1日は、職員のノーマイカーデー運動に取り組みます。
- エコドライブを心がけて運転します。
- 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
- オンライン会議等を積極的に利用し、車の利用を最小限にします。

3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ

- 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
- コピー用紙の年間削減目標を設定します。
- デジタル化により、ペーパーレスの推進に努めます。
- 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
- 宴会・会食等においては、「30・10（さんまる・いちまる）運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。

4 カーボン・オフセットにチャレンジ

- どうしても削減できないCO₂排出量については、かごしまエコファンド制度等を活用したカーボン・オフセット（埋め合わせ）に取り組みます。

5 自然環境の保全にチャレンジ

- 緑化や清掃など、自然環境の保全に係るボランティア活動などに取り組みます。
- 事業の展開にあたっては、地域固有種や、生物多様性の保全など、環境への影響について配慮します。